

報道発表資料 : 平成 23 年 7 月 13 日(水)

環境局 循環社会推進課 電話:093-582-2187

課長:作花(さくか)、計画係長:岩佐(いわさ)

千葉県流山市からの溶融飛灰について

1 これまでの経緯

7月12日(火)、新聞に「千葉県流山市が焼却場の灰から1kg当たり28,100ベクレルの放射性セシウムが検出されたと発表した」との記事が掲載された。千葉県流山市は、平成19年度から同市クリーンセンター焼却場から排出された溶融飛灰の一部について、リサイクル(非鉄金属等の回収)を光和精鋳(株)(戸畑区)に委託していた。本市では、6月下旬に東京都の江戸川工場の飛灰から放射性セシウムが検出されたとの報道を受け、受入れ停止を指導した。

同社では、この指導を受け、6月13日を最後に流山市からの受入れを停止している。

今回の報道発表に関して、電話で同市に現状を確認したところ、「7月11日以降搬出を停止している。停止以前の処理方法については、質問を受ければ口頭で回答している」とのことであった。このため、7月12日、光和精鋳(株)に対し、これまでの流山市からの受入れ状況について確認するとともに、場内で放射線量の測定等を行うよう指導した。

なお、市外からの溶融飛灰(一般廃棄物)の受入にあたっては、廃棄物処理法に基づき、排出側である流山市が受入側である本市に対し通知する義務があり、本件については、毎年度通知がなされていた。

2 溶融飛灰の受入れ状況・場内等の放射線量

光和精鋳(株)における東日本大震災後の飛灰の受入れ状況は次のとおり。

	受入日	流山市の溶融飛灰	飛灰受入量合計
3月	19日	9.26トン	464トン (震災前の流山市の飛灰18トンを含む)
	22日	27.12トン	
	23日	9.04トン	
4月	4日	8.99トン	585トン
	8日	9.05トン	
	11日	9.08トン	
5月	6日	9.01トン	606トン
	9日	9.05トン	
	11日	9.03トン	
6月	6日	8.97トン	605トン
	13日	9.11トン	
7月		受入なし	
	計	117.71トン (5.2%)	2,260トン

また、昨日、同社が、場内及び6月に受け入れた流山市の溶融飛灰の処理に伴う残さ(製鉄原料として利用)について放射線量を測定したところ、いずれも0.2マイクロシーベルト/時であった。また、同社では、詳細な測定を分析機関に依頼して実施すること。

3 今後の対応

今回の件を受け、本市としては流山市に対し、以下の点を改めて申し入れることとしている。

- ・ 今後は適切に本市へ情報提供を行うこと、
- ・ 搬入再開にあたっては改めて協議の上、本市へ廃棄物処理法に基づく通知を行うこと。